

山梨県立 考古博物館だより

NO. 68

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

発行 山梨県立考古博物館
発行日 平成21年10月16日

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923
TEL 055-266-3881 (代) FAX 055-266-3882

第27回特別展

卑弥呼時代の黄泉世界

～上の正方形周溝墓群発掘30周年～

上の平遺跡第1次調査で確認された方形周溝墓群



この秋、あなたは卑弥呼に出会う!!

10月10日(土)～11月29日(日)



ガラスや緑の石でできた頭飾り・耳飾り（復元品）（京都府赤坂今井墳丘墓出土・大阪府立弥生文化博物館所蔵）▲

ごあいさつ

考古博物館では、上の正方形周溝墓群の第一次発掘調査から30年が経つのを記念して、第27回特別展「卑弥呼時代の黄泉世界」を開催します。中国の地志「魏志倭人伝」によると上の正方形周溝墓群が造営された2世紀後半から3世紀は邪馬台国の女王・卑弥呼が活躍した時代といわれております。

今回の展示では、遠くは九州、関西、関東等各地の墳墓から発掘された国宝、重要文化財など約450点にのぼる出土品をとおして、弥生時代の人々の精神世界「黄泉世界」を探って参りたいと考えております。

なお、私は4月の人事異動により当館第6代館長に就任いたしました。諸先輩の築かれた輝かしい伝統を受け継ぎ、貴重な先人の文化遺産を広く公開し、学習と研究の場、学校教育や生涯学習との連携の拠点として、県民の皆様から親しまれる博物館を目指して誠心誠意取り組んで参ります。今後とも一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。

平成21年10月

山梨県立考古博物館 館長 武井 輝幸

第27回特別展

卑弥呼時代の黄泉世界

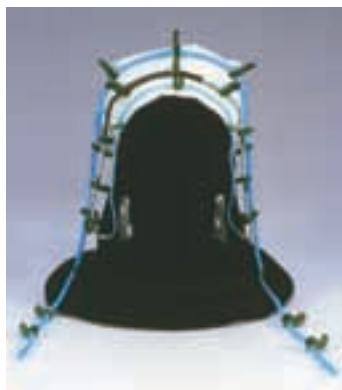
～上の正方形周溝墓群発掘 30周年～

甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内にある上の平遺跡は、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて営まれた125基もの大規模な方形周溝墓群です。1979（昭和54）年スポーツ広場建設に際し、55基の方形周溝墓が確認され、この一帯に古墳が出現する前夜の墓制と社会の様相を究明する上で重要な遺跡であります。現在は「方形周溝墓広場」として保存・整備されていますが、これが山梨における遺跡保存の原点となりました。

上の正方形周溝墓群は、大きさの違う墳墓が秩序よく配列しており、中には一辺30mの大型なものが存在します。弥生時代は、中国の歴史書『魏志倭人伝』にみえる卑弥呼に代表されるように、祭祀を行いながら集団を率いる首長が現れ、次第にその権力を拡大してゆく時代であり、その様子を墓制にみることができます。



上の平遺跡第1次調査で確認された方形周溝墓群



また自然の恵みに依存した縄文時代から、稲作農耕による食糧生産社会へと移り変わる社会の内面を映し出してもいます。

そこで今回の特別展では、上の平遺跡発掘30周年を記念して「卑弥呼時代の黄泉世界」と題し、こうした墓制に示された弥生人の精神世界「黄泉世界」を垣間見ながら、社会全体の姿を明らかにします。

なお東日本地域には方形周溝墓出現以前に、縄文時代の伝統が残る再葬墓や、これに伴う土偶形容器など特徴的な墓制がみられることから、西日本各地の墓制と比較しながら方形周溝墓が発達する過程を概観し、上の正方形周溝墓群の重要性について再確認します。

◀ガラスや碧玉でできた頭飾り・耳飾り（復元品）
（京都府赤坂今井墳丘墓出土・大阪府立弥生文化博物館所蔵）

1 縄文から弥生へ ～山梨県内の遺跡にみる黄泉世界のうつりかわり～

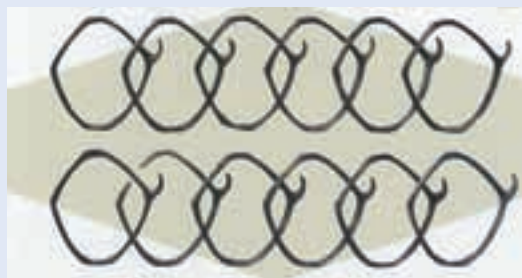
弥生時代のお墓とそれ以前の縄文時代のお墓。一体どこがどのように違うのか。それぞれのお墓の形や出土品を比較して、弥生人のお墓への考え方を読み取ります。

- ・青木遺跡（北杜市）出土土器・土製品・石製品
- ・大阪府池上曾根遺跡出土土器・木製品・石製品
- ・岡遺跡（笛吹市）出土土偶形容器（山梨県指定文化財） など

2 弥生墓制の開花 ～個性を競う各地の墓制～

日本列島の各地でさまざまなお墓がつけられるようになる弥生時代。九州や吉備・丹後・東海・関東地域などのお墓から見つかった、個性豊かで華やかな副葬品を展示します。

- ・佐賀県二塚山遺跡出土銅鏡（重要文化財）
- ・佐賀県桜馬場遺跡出土有鉤銅釧（重要文化財）
- ・栃木県出流原遺跡出土壺形土器（重要文化財）
- ・佐賀県宇木汲田遺跡出土細形銅剣・銅鉞
- ・京都府左坂墳墓群出土ガラス製勾玉
- ・長野県下境沢遺跡出土土偶形容器 など



佐賀県桜馬場遺跡出土有鉤銅釧（重要文化財 佐賀県立博物館所蔵）▶

3 卑弥呼の登場と大型墳丘墓

女王卑弥呼が登場する弥生時代の2世紀後半から3世紀後半は、各地に首長が登場する時期です。佐賀県吉野ヶ里遺跡や京都府大風呂南1号墓など首長たちの墓に納められた豪華な副葬品や卑弥呼に関連した品々を展示します。

- ・福岡県平原遺跡出土龍文鏡(国宝)
- ・京都府大風呂南1号墓出土銅製釧(重要文化財)
- ・京都府赤坂今井墳丘墓出土頭飾り・耳飾り(復元品)
- ・佐賀県吉野ヶ里遺跡出土把頭飾り付有柄細型銅剣(複製品)
- ・大阪府柚比本村遺跡出土赤漆玉鉞装鞘銅剣(復元品)
- ・岡山県楯築弥生墳丘墓出土特殊壺
- ・長野県根塚遺跡出土鉄剣(長野県宝) など



▲福岡県平原遺跡出土龍文鏡
(国宝 伊都国歴史博物館所蔵)



◀京都府大風呂南1号墓出土ガラス釧
(重要文化財 京都府与謝野町教育委員会所蔵)

4 方形周溝墓の拡がりとその上での平遺跡

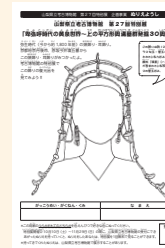
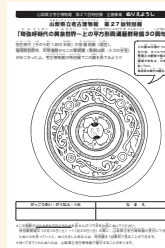
女王卑弥呼が活躍した時期、甲府盆地では東日本でも大規模なお墓群である、上の正方形周溝墓群(125基)が営まれました。ここでは上の正方形周溝墓群や県内の方形周溝墓からの出土品を展示し、それぞれの特徴を紹介します。

- ・上の平遺跡(甲府市)出土土器
- ・長野県剣ノ宮遺跡出土鉄釧
- ・頭無A遺跡(北杜市)出土鉄釧 など

ぬりえを塗って考古博物館へ行こう!

対象：小学生

鏡や頭飾り・耳飾りのぬりえを塗って特別展開催中に考古博物館へ行って特別展観覧料が無料になります。



第27回特別展「卑弥呼時代の黄泉世界～上の正方形周溝墓群発掘30周年～」のご案内

開催期間…10月10日(土)～11月29日(日)

期間中は休まず開館します。

観覧時間…午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

観覧料…一般・大学生 600(480)円

小・中・高校生 300(240)円

※()内は20名以上の団体料金

※常設展の観覧は、別途常設展観覧料が必要です。

※特別展+常設展セット券(共通観覧券)は個人・団体関係なく一般・大学生640円、小・中・高校生320円となります。

※11月20日(金)県民の日は観覧無料です。



■■■関連するイベントのお知らせ■■■

特別講演会

10月18日(日)「弥生時代前半期のお墓」

講師：駒澤大学教授 設楽 博己氏

11月1日(日)「卑弥呼時代のお墓～方形周溝墓の展開～」

講師：山岸 良二氏

11月15日(日)「卑弥呼と邪馬台国」

講師：奈良県立橿原考古学研究所企画部長 寺沢 薫氏

史跡文化財セミナー

10月25日(日)「上の正方形周溝墓群と周辺の古墳」

講師：当館学芸員 石神孝子

講演会・セミナーなどのお申し込み・お問い合わせ

山梨県立考古博物館 055(266)3881

インターネット・携帯電話からお申し込みいただけます

体験学習会

・チャレンジ博物館 対象：小中学生親子

10月18日(日)「弥生時代の矢じりをつくろう」

11月1日(日)「弥生時代の稲かりに挑戦しよう」

11月22日(日)「すこし大きなまが玉をつくろう」

・原始古代の技に学ぶ 対象：高校生以上一般

10月17日(土)「トンボ玉作り教室」

10月24日(土)・11月8日(日)「卑弥呼の鏡(!?)を作る」

11月3日(火・祝)「縄文人の知恵～ドングリ料理体験～」

11月21日(土)・28日(土)「青銅鏡作り体験」

体験学習会のお申し込み・お問い合わせ

風土記の丘研修センター 055(266)5286

お電話で直接お申し込みください

第21回 風土記の丘子どもまつりを開催しました

今年は5月2・3日の2日間、風土記の丘研修センターをメイン会場に開催しました。4,000人近くの方に来場いただきました。毎年大人気の「勾玉作り」、今年新たに追加した「青銅鏡作り」など様々なアトラクションで楽しみながら、古代への興味、関心を高めていただきました。

◇イベント内容◇
 「古代火起こし体験」→古代の人々の知恵と技術に挑戦!!
 「ペーパークラフト」→ペーパークラフトで歴史を学習!
 「狩猟体験」→弓矢での狩猟体験!!
 「古代と遊ぼう」→埴輪を的にした輪投げや土器や土偶のバスズルにチャレンジ。
 「勾玉作り」→親子で古墳時代のアクセサリー勾玉作り!
 「トンボ玉作り」→古代の装身具トンボ玉作りに挑戦!!
 「青銅鏡作り」体験 →砂で鋳型を作るところから古代の鏡を製作。
 「縄文太鼓をたたいて踊ろう!」→恒例!! 縄文土器の太鼓演奏と踊り (『JOMON DOKI DRUM BAND 森の精霊』)。
 「原始古代の味体験」→土器で炊いたおいしい黒米ご飯を試食。
 「史跡クイズウォークラリー」→風土記の丘公園内や博物館内にあるクイズを解きながら公園内を散策!



縄文太鼓をたたいて踊ろう!



青銅鏡作り

小・中学生親子のものづくり教室 チャレンジ博物館

* 第1回「ユニークな土偶をつくらう」(5/17)

「いっちゃん」の愛称で親しまれている当館所蔵の一の沢遺跡(笛吹市)出土土偶(重要文化財)などをモデルに個性的な土偶を作りました。



* 第2回「縄文時代のかごをつくらう」(6/14)

縄文時代以来の「網代編み」の技法で、小さめで、ちょっとおしゃれなかごを編みました。



* 第3回「粘土づくりから野焼きまで〜縄文土器をつくらう〜」(7/19・25・26、8/9)

土器作りのすべての工程を体験できる本格的な学習会。粘土と格闘した小学校低学年、毎年親子で参加を楽しみにしている高学年、レベルの高い作品に挑戦した中学生・・・それぞれの思いを形にした土器が出来上がりました。

* 第4回「縄文時代の布を編んでみよう」(8/23)

「編布」の技法でコースターやランチョンマットを作りました。編み方のルールをマスターすれば、あとは同じことを繰り返す根気のいる作業。少々苦戦している様子も見られましたが、全員が自分の作品を完成させました。

大人のものづくり教室 原始古代の技に学ぶ

* 第1回「勾玉とガラス小玉作り」(4/11)

* 第2回「トンボ玉作り教室」(4/25)

* 第3回「縄文土器作り教室」(5/9・16・30)

* 第4回「草木染め教室」(5/23)

* 第5回「青銅鏡作り体験」(6/6・13)

* 第6回「トンボ玉作り教室」(6/27)

* 第7回「編布作り体験教室」(7/4)

* 第8回「勾玉とガラス小玉作り」(7/18)

* 第9回「藍染め」(8/22)

* 第10回「青銅鏡作り体験」(9/5・12)

瑞花六華鏡などをモデルにして作った基形2つから1つを選んで砂で鋳型を作り、その型に熱く溶けた青銅を流し込み鏡を作りました。その後、磨きの作業をして仕上げました。参加者の方からは「他ではできない貴重な体験ができた」、「もっとぴかぴかにして顔が映るような鏡面に仕上げたい」という感想も聞かれました。

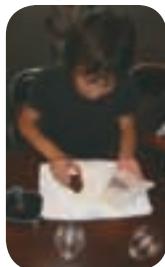


※ものづくり教室は、10月以降も開催いたします。ご案内は6ページをご覧ください。

夏休みフリーパスポートで考古博物館を楽しむ!



土器の拓本カードもつくろう!



今年も県内の小中学生に夏休みフリーパスポートを配布し(7月10日から8月30日までこのパスポートを持参すると県内の小中学生は常設展・企画展が観覧無料)、期間中昨年の700人を大幅に上回る1,323人ももの児童・生徒のみなさんが来館してくれました。

また、関連してイベントを開催しました。連日、当館に通い詰め、展示を見学、イベントに参加した小学生の男の子。滑石で勾玉を作り、それを嬉しそうに首にさげ帰っていった女の子。暑い中、銚子塚古墳と丸山塚古墳に汗だくで登り、合い言葉を見つけ、その合い言葉を繰り返し声に出しながら受付に戻ってきた小学生たち。みなさん、夏休み中、考古博物館でいろいろな体験をして楽しんだようでした。



勾玉をつくらう!

☆開催イベント☆
「トンボ玉をつくらう!」、「青銅鏡をつくらう!」、「古代の火おこしにチャレンジしよう!」、「勾玉をつくらう!」、「土器の拓本カードをつくらう!」、「古墳にのぼって合い言葉を見つけよう!」

史跡文化財セミナー

県内の史跡を歩いて探訪する史跡文化財セミナー、第40回「寺本古代寺院と甲斐国府」では、笛吹市教育委員会の内田裕一先生を講師に、初期国府がおかれていたと想定される笛吹市春日居町周辺を歩きました。第41回「勝山城と谷村城下町」では、都留市教育委員会の森屋雅幸先生を講師に、中世から近世にかけての郡内地方の中心である谷村城下町と近年発掘調査が進められている勝山城をめぐり、地域の歴史と最新の発掘成果を学習しました。第42回「津金学校から海岸寺」では、北杜市教育委員会の佐野隆先生を講師に、旧佐久往還を往来した人々を支えた海岸寺と、近代化の象徴ともいわれる藤



寺本古代寺院の説明をする内田先生



勝山城の石垣の説明をする森屋先生

村式明治建築の旧津金学校などを訪問しました。雨の中での開催となりましたが、多くの方にご参加いただき、大成功に終わりました。

- | | |
|---|----------|
| 第40回「寺本古代寺院と甲斐国府」(笛吹市) | 4月26日(日) |
| ○寺本古代寺院跡、国府遺跡、大中院、甲斐奈神社、山梨岡神社、保雲寺、立川不動尊など | |
| 第41回「勝山城と谷村城下町」(都留市) | 6月14日(日) |
| ○勝山城跡、谷村城跡、谷村陣屋跡、円通院、桃林軒、長安寺、都留市商家資料館など | |
| 第42回「津金学校から海岸寺」(北杜市) | 8月2日(日) |
| ○旧津金学校(須玉歴史資料館)、古宮城跡、源太ヶ城跡(説明のみ)、海岸寺など | |

考古学講座

今年度のテーマは「弥生時代のやまなし」。
弥生時代は、現代の主食であるコメや金属・ガラスの加工技術などが伝えられた時代で、それまでの狩猟・採集の生活から農耕へと生活様式が大きく変化した時代です。今年度の考古学講座は、弥生時代に着目して、山梨での人々の生活に迫りました。

各回とも50名を超える参加をいただきました。また4回すべての講座を受講された方が22名おり、参加者のみなさまの関心の高さに驚きました。



弥生時代の墓制について講演する小林先生

- | | | | |
|---|----------|--------------|----------|
| 第1回「弥生時代のお墓」 | 6月7日(日) | 山梨県埋蔵文化財センター | 小林 健二 先生 |
| 第2回「ガラス最前線～弥生時代に伝わった技術～」 | 6月28日(日) | 山梨県立博物館 | 沓名 貴彦 先生 |
| 第3回「弥生時代の台所事情～やまなしのコメはここまでわかった!～」 | 7月12日(日) | 山梨県立博物館 | 中山 誠二 先生 |
| 第4回「縄文文様の世界～縄文土器に見る文様から～」【夏季企画展タイアップ講座】 | 8月9日(日) | 山梨県埋蔵文化財センター | 小野 正文 先生 |

～春・夏の企画展から～

○春季企画展

「氷河時代のムラと暮らし～2万年前の山梨の遺跡～」
4月25日(土)～6月28日(日)

今から約2万年前の山梨県。最終氷河期の中でも特に寒冷化していたといわれていますが、旧石器時代の中では最も遺跡が多くみられる時代です。春季企画展では、出土した石器や、石器石材の分析を通して当時の人々の生活に迫りました。

○夏季企画展

「縄文土器文様絵巻～展開写真で見る縄文絵画の世界～」
7月18日(土)～9月6日(日)

温暖で豊かな文化がはぐくまれた5,000年前の縄文時代中期。山梨の縄文土器は、絢爛豪華な文様で飾られ、縄文芸術の到達点といわれています。夏季企画展では、縄文土器に装飾された文様を、絵巻物のように写し取った展開写真とともに、複雑で美しい大迫力の縄文土器を紹介しました。



イベントのごあんない（10月～3月）

日曜日開催

チャレンジ博物館（小・中学生親子）

*無料

- 弥生時代の矢じりをつくろう【10月18日】
粘板岩を削って磨製の矢じり（矢の先）を作ります。
 - 弥生時代の稲かりに挑戦しよう【11月1日】
粘板岩を加工して石包丁を作り、古代米の稲刈りに挑戦します。
 - すこし大きなまが玉をつくろう【11月22日】
県内の出土品や特別展の展示品をモデルに滑石を加工していつもより少し大きな勾玉を作ります。
 - 古代の青銅鏡をつくろう【12月13日】
鑄型を作り、青銅を流して古代の鏡を作ります。
 - 干支の土鈴をつくろう【1月10日】
粘土で平成22年の干支の「寅」をモチーフとした鈴を作ります。
 - 縄文時代のアクセサリーをつくろう【2月14日】
滑石を削って磨き、耳飾り（けつ状耳飾り）を作ります。
- ※すべて事前のお申し込みが必要です。



石包丁完成品

土曜日開催

原始古代の技に学ぶ（一般）

*教材費が必要となります

- トンボ玉作り教室【10月17日】
古代の装身具であるトンボ玉（ガラス玉）をガラスを棒に巻き取って作ります。
- 縄文人の知恵～ドングリ料理体験～【11月3日】
縄文人が食べていたドングリを調理して試食してみます。
- 青銅鏡作り【11月21・28日】
砂で鑄型を作り、青銅を流し込んで、青銅鏡（直径約8cm）を作ります。
- 勾玉とガラス小玉作り【12月19日】
美しい青田石を削って勾玉を、巻き取り法でガラスの小玉を作ります。
- 草木染めと原始機織り【1月23・30・31日】
染料で毛糸を染めてマフラーを織ります。
- 縄文土器作り【2月6・13・20日】
初心者と上級者対象の縄文土器作り教室です。
- 青銅鏡作り【3月13・20日】
※すべて事前のお申し込みが必要です。

どなたでも

- 県民の日イベント** 11月20日（金）→県民の日はすべての方が特別展・常設展観覧料が無料になります。
- 新年干支展** 平成22年1月2日（土）～1月31日（日）→寅年にちなんだ収蔵品をエントランスホールにミニ展示します。
- 古代のもちつき** 1月2・3日（土・日）→弥生時代の木製品をモデルに作った竪杵で古代米などを入れたお餅をつきます。
- こうこはく de タッチ & トーク⑤～⑨** 1月10・31日（日）、2月14・21・28日（日）
→学芸員の話聞きながら、展示品や収蔵品を実際に触ることができます。
- 第7回わたしたちの研究室展示会** 2月9日（火）～3月7日（日）
→小中学生からご応募をいただいた考古学や歴史学に関係した研究の全作品を展示します。
- 風土記の丘望見展** 2月2日（火）～3月21日（日）→風土記の丘研修センターにて展示をします。
- 山梨の遺跡展 2010** 3月13日（土）～4月4日（日）→最新の発掘調査と整理作業でわかった成果の速報展です。
※特別展関連行事は3ページをご覧ください。
※イベントの詳細はホームページに随時掲載していきます。また、お電話でお気軽にお問い合わせください。
※申し込みが必要なものは開催日の1ヶ月前からお申し込みを受け付けます。

考古博物館協力員による

常設展解説（ボランティアガイド）を行っています！

今年度から新たに考古博物館協力員による常設展示の解説（ボランティアガイド）を始めました。昨年度からボランティアガイドの研修を行い、「解説をやってみたい」という意欲的な方に月に数回（不定期）解説をしていただいています。

最初はお客さんに「解説をしますよ」と声をかけるのも難しかった協力員さんでしたが、解説を重ねるに連れて、お客さんを惹きつけるような解説ができつつあるようです。また、お客さんの質問にも丁寧に答えています。

解説を受けた来館者の方々から「解説を聞きながら展示をみると展示品のことがよくわかってよかった」と嬉しいお言葉をいただき、協力員さんもやりがいを感じているようです。

ガイドを聞けば山梨の考古学や歴史、展示品などにもっと興味・関心が湧くはず。協力員による展示解説をぜひお聞きください。



※解説可能日は考古博物館ホームページをご覧ください。

考古博物館協会のブログ

協力員の方の日頃の活動や博物館の様子、ミュージアムショップで取り扱っている商品の紹介など随時更新。
<http://www.y-kyouryokukai.jp/>

歴史イベント「古代ジビエ」

6月21日（日）開催

獣害対策支援センターとともに開催しました。シカやイノシシを研究されている方、猟師さんなどジビエに関係の深い方の参加もあるなか、旧石器時代以来の料理法である石蒸し焼きでシカとイノシシを調理したり、講演聴講、展示見学、ドングリクッキーを試食したりと内容盛りだくさんでした。また違った観点から昔の人の生活を考えるイベントになりました。



こうこはく de タッチ & トーク

毎回違うテーマを設定し当館の学芸員がその資料にまつわる話をし、参加された方に石器や土器など普段は触れないものに触っていただきました。

- ①投げ槍の話（5/17）
- ②昔のお鍋の話（5/24）
- ③縄文土器の中にある動物を探してみよう！（8/16）
- ④縄文土器の中の○△□を探してみよう！（8/23）

歩いて学んで体験する

○考古博物館および周辺古墳の説明メニュー 当館のおすすめコース

- 考古博物館見学…展示室充実コース 40～60分(50名程度)
エントランスホールにて概略を説明後、職員が先導して詳細説明を行います。
 - 古墳見学 …現地同行概略コース 30～50分(50名程度)
古墳現地まで職員が同行し、古墳の概略説明を行います。
- *上記以外のコースについては、風土記の丘研修センター※1までお問い合わせいただくか、考古博物館ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>
- *見学する人数に応じて、コースを選択・設定することができます。
グループ分けなどにより最大250名程度対応できます。

学校・団体用



○原始・古代の技術体験学習メニュー ※2

区 分	所要時間	内 容 等	人数等	教材費
古代の火起こし	I まいぎり式	約40～60分 古代の火起こしの概要説明とまいぎり式火起こしを体験します。1グループ(4～6名)に1組の発火具で、時間内に交代で体験します。 ※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です)	130名まで	—
	II まいぎり式その他、火打ち式等の体験	約60～80分 原始から近世までの火起こしに関する詳細説明と主にまいぎり式を用いた火起こしを体験します。もみぎり式やひもぎり式、弓ぎりや火打ち式等の火起こし体験も可能です。 ※小学校3年生以上(小学校5年生以上が理想です)	30名まで	—
まが玉作り	滑石 (20×10×30mm)	約80～90分 砥石や紙ヤスリで削ってまが玉を作ります。時間の制約上、製作途中で持ち帰り自宅や学校で仕上げることもできます。 ※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です)	50名まで	1人 130円
最古の編み物	編布(アングン)	約60～90分 編布(アングン)は、カラムシやミヤマイラクサ、麻などからとった植物繊維を素材とする日本最古の布で、各地の縄文時代の遺跡から発掘されています。当館では「越後アングン」にならい専用の編布台を使って、麻ヒモでコースターを作ります。 ※小学校5年生以上	30名まで	—
縄文の土鈴作り	1週間ほど乾燥させた後、野焼きで焼成させます。	約20～40分 一人約50gの粘土で球形の土鈴を製作します。半球形のを二つ作り、中に粘土の粒を数個入れつなぎ合わせます。表面をきれいにし文様を入れます。 ※小学校4年生以上(小学校5年生以上が理想です) ※宅配便でのお送りも可能です(送料等は別途学校負担)。	50名まで	1人 50円

※1 小・中学校、高等学校等の見学・体験のお申し込みは、TEL055-266-5286(風土記の丘研修センター)へ
小・中学校、高等学校等以外の団体で見学のみ場合は、TEL055-266-3881(考古博物館)へお願いします。

※2 体験学習は、考古博物館見学校に限りです。
*考古博物館(古墳)から風土記の丘研修センターへは、遊歩道が設けられています。(20～25分程度かかります。)

○古代衣装レプリカ教材貸出 博物館では、学校向けに古代衣装の貸し出しを行っています!!

- 種類 ☆弥生時代や古墳時代の服(貫頭衣)
☆古墳時代の豪族や武人の服(胡服)
☆まじないや祭祀をつかさどった巫女の服
☆高松塚古墳の壁画に描かれた女官の服
☆高松塚古墳の壁画に描かれた官吏の服
※上記の衣装をそれぞれ3着用意してあります。

実際に手に取り着用することによって、歴史を身近に感じ、古代人の生活の一端をイメージして膨らませることにより、学習の機会を広げてください。

古代衣装貸出のお申し込みは
TEL 055-266-3881(考古博物館まで)

研究成果の募集 第7回わたしたちの研究室

夏休みの自由研究や選択社会、総合的な学習の時間などで取り組んだ児童・生徒の研究作品を募集しています。

この事業は、小中学生のみなさんが考古学や歴史の楽しさを知り、興味を持つ機会とするために実施しております。優秀作品を表彰する他、応募いただいた研究成果すべてを公開・展示いたします。

内容	山梨県の考古学や歴史学などの社会科歴史的分野に関する研究成果
対象	県内の小中学生（個人やグループ、学級・学年・学校単位）
部門	個人研究部門・小学校の部 個人研究部門・中学校の部 児童・生徒がそれぞれ自由なテーマで、または教育課程において統一したテーマで取り組んだ個人研究・作品およびグループ研究・作品 団体研究部門 学級・学年・学校（部活動等を含む）で行った研究または統一したテーマのもとで研究した児童・生徒個人の成果をとりまとめたもの、あるいはその指導過程
表彰	3つの部門それぞれ 最優秀賞（教育委員長賞）1名、優秀賞（教育長賞）2名 努力賞（県考古学協会賞）若干名、奨励賞（館長賞）若干名
応募規定	①学校で取りまとめて郵送もしくはご持参ください。 ②研究成果（表紙）の作品には学校名・学年・氏名・ふりがな・テーマを記載してください。 ③申し込み時に「参加申込書」(様式1)と「展示用解説書」(様式2、団体部門のみ)をご提出ください。 ④未発表のものであれば過去（概ね1年以内）に研究した成果でも応募可とします。
応募期間	平成21年9月1日（火）～11月29日（日）
表彰式	平成22年2月7日（日）
発表会	平成22年2月7日（日）
展示会	平成22年2月9日（火）～3月7日（日）
	※ご応募の詳細・応募用紙などは当館 web ページに掲載しております。

縄文王国山梨 2009 スタンプラリー 開催中！

平成22年2月28日（日）まで

今年も縄文王国山梨実行委員会では、県内の博物館・資料館を巡るスタンプラリーを開催しています。今年度は8館になってパワーアップ。各館へ行って、スタンプを集めよう！

- ☆参加館☆
- 山梨県立博物館
 - 釈迦堂遺跡博物館
 - 韮崎市民俗資料館
 - 谷戸城ふるさと歴史館
 - 北杜市埋蔵文化財センター
 - 富士吉田市歴史民俗博物館
 - 南アルプスふるさと文化伝承館
 - 山梨県立考古博物館

応募いただいた方にはもちろんオリジナルしおいをプレゼント。さらに、ミニチュア縄文土器やスタンプセットがもらえるかも！

みなさまのご来館をお待ちしています。

※詳しくは
縄文王国山梨ブログ、考古博物館ホームページをご覧ください。



縄文王国山梨のブログ

<http://ameblo.jp/kingdom-of-jiyoumon/>

縄文王国山梨の8館のうち3館を巡るバスツアーも開催！
10月18日（日）、11月29日（日）、1月31日（日）
各館の学芸員がバスガイドとなり、館のみどころや、その地域の歴史、遺跡をご案内。訪問する先々では展示見学はもちろん、体験イベントへも参加！また、スタンプラリーのスタンプも集めることができます！
※開催1ヶ月前からお申し込みを受け付けます。

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日（祝祭日・振替休日を除く）
祝日の翌日（日曜日・祝日を除く）
12月29日～1月1日

- ※次の場合観覧料が免除になります
- ・65才以上の方（ただし、特別展は県外の方を除く）
 - ・障害者手帳をお持ちの方
 - ・毎週土曜日の小・中・高校生
 - ・県民の日（11月20日）
 - ・県内の学校の教育課程での見学（下記参照）

県内の学校の利用と観覧料免除について

- ・教育課程（県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校）で入館される場合は観覧料が免除になります。
 - ・見学予定日の10日くらい前までに、観覧料免除申請書を提出してください。
 - ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
 - ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。
- 学校見学の申し込みと問い合わせ先**
055 (266) 5286 風土記の丘研修センター

交通

(1) **路線バスの利用**

- ・甲府駅より豊富行（中道橋経由）→「県立考古博物館」下車
- ・甲府駅より市立甲府病院行→市立甲府病院で下車乗り換え・富士急平和観光バス古閑町行→「風土記の丘農産物直売所」下車

(2) **自家用車の利用**
中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日）
12月29日から1月3日

